

文化財保存学専攻 保存修復(工芸)准教授の公募について

1. 募集人員 東京藝術大学芸術研究院文化財保存修復領域 准教授 1名
2. 所属・専門等 大学院美術研究科文化財保存学専攻 保存修復(工芸)
3. 担当授業 文化財の保存および修復に関する講義、修復実習および演習を担当する。
4. 採用予定時期 平成29年10月1日
5. 任期 採用にあたっては、定年(満67歳)を上限として、准教授は10年の任期制(更新可)が適用される。
6. 給与 本学規定による。
7. 応募資格 下記の各項を満たす者
 - (1)保存修復(工芸)に関する優れた業績を有する者
 - (2)保存修復(工芸)に関する修復技法と理論について総合的に造詣が深く、その修復等の実績をもち、上記の専門分野に関し十分な研究指導能力を有する者
 - (3)主たる自己の専門とする保存修復(工芸)以外の分野の工芸保存についても幅広い見識を有する者
 - (4)保存修復に関する国内外の共同プロジェクトなどに参加できる者
 - (5)大学院博士前期課程(修士課程)および博士後期課程学生の教育研究指導にあたる者
 - (6)修士以上の学位を有する者もしくはこれと同等以上の実績を有する者
 - (7)採用後、通勤可能な範囲に居住できること(上野校地)
 - (8)国籍は問わない。ただし、上記の教育に支障のない日本語能力を有する者
8. 選考方法
 - (1)第一次選考:書類審査 平成28年12月中旬 結果は書面にて通知する。
 - (2)第二次選考:面接審査 平成28年12月22日(木) 詳細は第一次選考合格者に通知する。
(なお、面接に要する旅費等は自己負担とする。)
 - (3)候補者内定:平成29年3月中旬頃
9. 提出書類
 - (1)履歴書(写真貼付)
 - (2)業績リスト(別添の参考資料1を参照して作成のこと) 応募者の保存修復研究領域(工芸)における主たる専門分野を明記のこと
 - (3)主たる修復(修理)報告書や学術投稿論文や創作作品等の業績資料(A4 ファイル1冊にまとめる、資料等は写しで可、別添の参考資料2を参照して作成のこと)
 - (4)応募の動機および教育研究に対する抱負(2000字程度、書式自由、ただし日本語に限る)
※いずれもA4判用紙を基本とする。なお、(3)業績資料は返却するので、応募者は必要な額の切手を貼付し、送付先を明記した返信用封筒を同封すること。(宅配便利用の場合は、送付票(着払い)に記入の上、返信用封筒と共に同封すること。)
※提出書類は採用事務にのみ使用し、その他の目的に使用することはありません。
10. 書類提出先
〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8
東京藝術大学美術学部庶務係 宛
提出書類は「書留」とし、封筒の表面に「文化財保存学専攻教員応募書類在中」と朱書きすること
11. 書類提出期限
平成28年12月6日(火)17時までに必着(厳守)のこと。書留郵便以外は受理しない。
【本件に関する問合せ先】(問合せは、必ず文書によること。)
〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学美術学部庶務係(担当:本橋)
FAX: 03-5685-7765

参考資料1 - 業績リスト作成要領

1. 論文(審査付きのものに限る)
 - 1.1 主著論文
著者名(全員を記載)、論文タイトル、掲載誌名、号(年)、頁(ppにて)
 - 1.2 共著論文
著者名(全員を記載)、論文タイトル、掲載誌名、号(年)、頁(ppにて)
2. 講演
 - 2.1 筆頭者としての発表
著者名(全員を記載)、講演タイトル、掲載誌名、号(年)、頁(ppにて)
 - 2.2 共同発表
著者名(全員を記載)、講演タイトル、掲載誌名、号(年)、頁(ppにて)
3. 修理報告
著者名(全員を記載)、タイトル、年、頁(ppにて)
4. 展覧会等
 - 4.1 企画展(企画のみも含む)
 - 4.2 個展やグループ展等
 - 4.3 その他展覧会等
5. 解説等の記事
著者名(全員を記載)、タイトル、掲載誌名、号(年)、頁(ppにて)
6. 著作等
著者名(全員を記載)、タイトル、書籍名、号(年)、頁(ppにて)
7. 監修等
8. その他の業績

参考資料2 - 業績資料の作成要領

業績リストに記載の業績ごとに番号をつけ、その順番に対応するように資料を作成すること。

(例)

業績リスト

1.1主著論文

1. 藝大太郎、藝大花子：保存工芸応募、藝大通達 28(2016) pp1-2.

